

写真管理基準

改訂:令和7年4月	現行:平成28年7月	改訂理由
1.総 則 1－1 適用範囲 この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理(デジタルカメラを使用した撮影～提出)に適用する。 また、写真を映像と読み替えることも可とする。 1－2 工事写真の分類 工事写真は以下のように分類する。 着手前及び完成写真(既済部分写真等を含む) 施工状況写真 安全管理写真 使用材料写真 工事写真 品質管理写真 出来形管理写真 災害写真 事故写真 その他(公害、環境、補償等) 2. 撮影 2－1 撮影頻度 工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。 2－2 撮影方法 写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。 ① 工 事 名 ② 工 種 等 ③ 測点(位置) ④ 設 計 寸 法 ⑤ 実 測 寸 法 ⑥ 略 図 小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報(写真管理項目－施工管理値)に必要事項を記入し、整理する。 また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。	1.総 則 1－1 適用範囲 この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理(デジタルカメラを使用した撮影～提出)に適用する。 1－2 工事写真の分類 工事写真は以下のように分類する。 着手前及び完成写真(既済部分写真等を含む) 施工状況写真 安全管理写真 使用材料写真 工事写真 品質管理写真 出来形管理写真 災害写真 事故写真 その他(公害、環境、補償等) 2. 撮影 2－1 撮影頻度 工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。 2－2 撮影方法 写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。 ① 工 事 名 ② 工 種 等 ③ 測点(位置) ④ 設 計 寸 法 ⑤ 実 測 寸 法 ⑥ 略 図 小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報(写真管理項目－施工管理値)に必要事項を記入し、整理する。 また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。 なお、施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理を行う場合は、上記の④～⑥を省略しても良い。	映像記録について 追記

改訂:令和7年4月	現行:平成28年7月	改訂理由
2－3 情報化施工及び3次元データによる施工管理 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。 また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。 2－4 写真の省略 工事写真は以下の場合に省略する。 (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。 (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。 (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。 2－5 写真の編集等 写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化についての一部改定について』(令和5年3月15日付け、国技建管第6号)に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。 2－6 撮影の仕様 写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。 (1) 写真はカラーとする (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度) 映像と読み替える場合は、以下も追加する。 (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。 (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、工事監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムプラス映像を撮影することができる。 2－7 撮影の留意事項 撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。 (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。 (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。 (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。 (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。	2－3 写真の省略 工事写真は以下の場合に省略する。 (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。 (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。 (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。 2－4 写真の編集等 写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。 2－5 撮影の仕様 写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。 (1) 写真はカラーとする (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。縦横比3:4程度とする。(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度) 2－6 撮影の留意事項等 撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。 (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。 (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。 (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。 (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。 (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。 映像記録について追記

改訂:令和7年4月	現行:平成28年7月	改訂理由
3. 整理提出 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。 4. その他 撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義 (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要 小限の箇所や枚数のことをいう。	3. 整理提出 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。(デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」とは撮影箇所一覧表の「整理条件」に該当する写真をいう。) 4. その他 撮影箇所一覧表の用語の定義 (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。 (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要 小限の箇所や枚数のことをいう。 (3) 不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。	

撮影箇所一覧表

【改訂：令和7年4月】

区分		写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1 回 〔着手前〕	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1 回 〔完成後〕	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月 1 回 〔月末〕	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施〔施工中〕	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所 に 1 回 〔施工前後〕	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における空中写真測量（UAV）」による場合は、撮影毎に1回（写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納）） 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における地上型レーザースキャナー（TLS）、地上移動体搭載型レーザースキャナー（地上移動体搭載型LS）、無人航空機搭載型レーザースキャナー（UAVレーザー）、TS（ノンプリズム方式）、TS等光波方式、RTK－GNSS」による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕	工事打合簿に添付する。

撮影箇所一覧表

【現行：平成28年7月】

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1 回 〔着手前〕	着手前 1 枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1 回 〔完成後〕	施工完了 後 1 枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月 1 回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施〔施工中〕	適宜	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所 に 1 回 〔施工前後〕	代表箇所 1 枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真		不要	工事打合簿に添付する。

改訂理由
3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。

撮影箇所一覧表（品質管理）

【改訂：令和7年4月】

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランプ試験		
		コンクリートの圧縮強度試験		
		空気量測定	品質に変化が見られた場合〔試験実施中〕	
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	コンクリート舗装の場合適用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
	コンクリートの洗い分析試験			
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕ただし、 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により施工完了時の状況（全周）の提出によりひび割れ調査写真を代替することができる。	
		テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に1回〔試験実施中〕	
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 〔試験実施中〕	
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回〔検査実施中〕	
	超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回〔検査実施中〕	
		浸透探傷試験	試験毎に1回〔試験実施中〕	
		放射線透過試験		
		超音波探傷試験		
		水セメント比試験		
		セメントミルクの圧縮強度試験		
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回〔試験実施中〕	
		ブルーフローリング	路盤毎に1回〔試験実施中〕	
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回〔試験実施中〕	
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕	
		土の液性限界・塑性限界試験		
		含水比試験		
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	
		粒度		
		平板載荷試験		
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合	
		含水比試験	〔試験実施中〕	
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【現行：平成28年7月】

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)(施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランプ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合[試験実施中]		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回[試験実施中]		コンクリート舗装の場合適用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
	コンクリートの洗い分析試験				
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)(施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]		
		テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に1回[試験実施中]		
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回〔検査実施中〕	不要	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回〔検査実施中〕	不要	
		浸透探傷試験	試験毎に1回〔試験実施中〕		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回[試験実施中]	不要	
		ブルーフローリング	路盤毎に1回〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回[試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合[試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合		
		含水比試験	[試験実施中]		
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要	

撮影箇所一覧表（品質管理）

【改訂：令和7年4月】

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
7	セメント安定処理路盤（施工）	粒度	各種路盤毎に1回〔試験実施中〕	
		現場密度の測定		
		含水比試験	観察により異常が認められた場合〔試験実施中〕	
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕	
8	アスファルト舗装（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		水浸ホイールトラッキング試験		
		ホイールトラッキング試験		
		ラベリング試験		
	アスファルト舗装（舗設現場）	現場密度の測定	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	
		温度測定		
		外観検査		
		すべり抵抗試験		
9	転圧コンクリート（施工）	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	
		マーシャル突き固め試験		
		ランマー突き固め試験		
		コンクリートの曲げ強度試験		
		温度測定（コンクリート）	コンクリートの種類毎に1回〔温度測定中〕	
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	
		コアによる密度測定		
10	グースアスファルト舗装（プラント）	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	
		リュエル流動性試験240℃		
		ホイールトラッキング試験		
		曲げ試験		
		粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		グースアスファルト舗装（舗設現場）		
	11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回〔試験実施中〕ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する
ブルーフローリング			路床毎に1回〔試験実施中〕	
平板載荷試験				
現場CBR試験				
含水比試験			降雨後または含水比の変化が認められた場合〔試験実施中〕	
たわみ量			ブルーフローリングの不良箇所について実施〔試験実施中〕	

撮影箇所一覧表（品質管理）

【現行：平成28年7月】

番号	工種	写真管理項目			摘要	改訂理由
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度		
7	セメント安定処理路盤（施工）	粒度	各種路盤毎に1回〔試験実施中〕	不要		
		現場密度の測定				
		含水比試験	観察により異常が認められた場合〔試験実施中〕			
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕			
8	アスファルト舗装（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	不要		
		アスファルト量抽出粒度分析試験				
		温度測定				
		水浸ホイールトラッキング試験				
		ホイールトラッキング試験				
		ラベリング試験				
	アスファルト舗装（舗設現場）	現場密度の測定	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	不要		
		温度測定				
		外観検査				
		すべり抵抗試験				
9	転圧コンクリート（施工）	コンシステンシーV C 試験	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕	不要		
		マーシャル突き固め試験				
		ランマー突き固め試験				
		コンクリートの曲げ強度試験				
		温度測定（コンクリート）	コンクリートの種類毎に1回〔温度測定中〕			
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回〔試験実施中〕			
		コアによる密度測定				
10	グースアスファルト舗装（プラント）	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	不要		
		リュエル流動性試験240℃				
		ホイールトラッキング試験				
		曲げ試験				
		粒度				
		アスファルト量抽出粒度分析試験				
		温度測定				
		グースアスファルト舗装（舗設現場）				
	11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎に1回〔試験実施中〕	不要	
ブルーフローリング			路床毎に1回〔試験実施中〕			
平板載荷試験						
現場C B R 試験						
含水比試験			降雨後または含水比の変化が認められた場合〔試験実施中〕			
たわみ量			ブルーフローリングの不良箇所について実施〔試験実施中〕			

撮影箇所一覧表（品質管理）

【改訂：令和7年4月】

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度　[時期]	
18 19	河川・海岸土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回〔試験実施中〕ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合〔試験実施中〕	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合〔試験実施中〕	
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回〔試験実施中〕ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	
21	道路土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回〔試験実施中〕ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	
		ブルーフローリング	工種毎に1回〔試験実施中〕	
		平板載荷試験	土質毎に1回〔試験実施中〕	
		現場CBR試験		
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合〔試験実施中〕	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合〔試験実施中〕	
たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施			
22	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回〔試験実施中〕	
		岩石の吸水率		
		岩石の圧縮強さ		
		岩石の形状		
23	コンクリートダム（材料）	アルカリシリカ反応対策	採取地毎に1回	
		骨材の密度及び吸水率試験	〔試験実施中〕	
		骨材のふるい分け試験		
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回〔試験実施中〕	
		モルタルの圧縮強度による砂の試験		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【現行：平成28年7月】

番号	工種	写真管理項目			摘要	改訂理由
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
18 19	河川・海岸土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回〔試験実施中〕	不要		諸基準類の改定に伴う修正
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合〔試験実施中〕			
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合〔試験実施中〕			
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回〔試験実施中〕	不要		諸基準類の改定
21	道路土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回〔試験実施中〕	不要		諸基準類の改定
		ブルーフローリング	工種毎に1回〔試験実施中〕			
		平板載荷試験	土質毎に1回〔試験実施中〕			
		現場CBR試験				
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合〔試験実施中〕			
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合〔試験実施中〕			
22	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回〔試験実施中〕	不要		
		岩石の吸水率				
		岩石の圧縮強さ				
		岩石の形状				
23	コンクリートダム（材料）	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回	不要		
		骨材の密度及び吸水率試験	〔試験実施中〕			
		骨材のふるい分け試験				
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回〔試験実施中〕			
		モルタルの圧縮強度による砂の試験				

撮影箇所一覧表（品質管理）

【改訂：令和7年4月】

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
25	吹付けコンクリート（N A T M）	塩化物総量規制	配合毎に1回〔試験実施中〕	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験		
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合〔試験実施中〕	
		空気量測定		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕	
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回	
26	ロックボルト（N A T M）	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回〔試験実施中〕	
		モルタルのフロー値試験		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜	
27	路上再生路盤工（材料）	修正C B R 試験	材料毎に1回〔試験実施中〕	
		土の粒度試験		
		土の含水比試験		
		土の液性限界・塑性限界試験		
	路上再生路盤工（施工）	現場密度の測定	材料毎に1回〔試験実施中〕	
		土の一軸圧縮試験		
		C A E の一軸圧縮試験		
28	路上表層再生工（材料）	旧アスファルト針入度	材料毎に1回〔試験実施中〕	
		旧アスファルトの軟化点		
	路上表層再生工（施工）	現場密度の測定	材料毎に1回〔試験実施中〕	
		温度測定		
		かきほぐし深さ		
		粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
29	排水性舗装工・透水性舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		水浸ホイールトラッキング試験		
		ホイールトラッキング試験		
		ラベリング試験		
		カンタプロ試験		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【現行：平成28年7月】

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
25	吹付けコンクリート（N A T M）	塩化物総量規制	配合毎に1回〔試験実施中〕	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕		
26	ロックボルト（N A T M）	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回〔試験実施中〕	不要	
		モルタルのフロー値試験			
		ロックボルトの引抜き試験	適宜		
27	路上再生路盤工（材料）	修正C B R 試験	材料毎に1回〔試験実施中〕	不要	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工（施工）	現場密度の測定	材料毎に1回〔試験実施中〕		
		土の一軸圧縮試験			
		C A E の一軸圧縮試験			
	含水比試験				
28	路上表層再生工（材料）	旧アスファルト針入度	材料毎に1回〔試験実施中〕	不要	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工（施工）	現場密度の測定	材料毎に1回〔試験実施中〕		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
29	排水性舗装工・透水性舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホイールトラッキング試験			
		ホイールトラッキング試験			
		ラベリング試験			
		カンタプロ試験			

改訂理由
新工種追加

撮影箇所一覧表（品質管理）

【改訂：令和7年4月】

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度　〔時期〕	
29	排水性舗装工・透水性舗装工（舗設現場）	温度測定 現場透水試験 現場密度の測定 外観検査		
30	プラント再生舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に1回〔試験実施中〕	
		再生アスファルト量		
		水浸ホイールトラッキング試験		
		ホイールトラッキング試験		
		ラベリング試験		
	プラント再生舗装工（舗設現場）	外観検査		
		温度測定		
		現場密度の測定		
31	工場製作工	外観検査	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔現物照合時〕	
		在庫品切出	当初の物件で 1 枚〔切出時〕※他は焼き増し	
		機械試験	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔試験実施中〕	
32	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に 1 回〔試験実施中〕	
		ノッチ深さ		
		スラグ		
		上縁の溶け		
		平面度		
		ベベル精度		
		真直度		
33	溶接工	引張試験	試験毎に 1 回〔試験実施中〕	
		型曲げ試験		
		衝撃試験		
		マクロ試験		
		非破壊試験		
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査		
		外観検査		
		曲げ試験		
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて〔試験実施中〕	
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜	
			〔試験実施中〕	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に 1 回	
			〔試験実施中〕	

撮影箇所一覧表（品質管理）

【現行：平成28年7月】

番号	工種	写真管理項目			摘要	改訂理由
		撮影項目	撮影頻度　〔時期〕	提出頻度		
29	排水性舗装工・透水性舗装工（舗設現場）	温度測定 現場透水試験 現場密度の測定 外観検査		不要		
30	プラント再生舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に 1 回〔試験実施中〕	不要		
		再生アスファルト量				
		水浸ホイールトラッキング試験				
		ホイールトラッキング試験				
		ラベリング試験				
	プラント再生舗装工（舗設現場）	外観検査				
		温度測定				
		現場密度の測定				
31	工場製作工	外観検査	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔現物照合時〕	不要		
		在庫品切出	当初の物件で 1 枚〔切出時〕※他は焼き増し			
		機械試験	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔試験実施中〕			
32	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に 1 回〔試験実施中〕	不要		
		ノッチ深さ				
		スラグ				
		上縁の溶け				
		平面度				
		ベベル精度				
		真直度				
33	溶接工	引張試験	試験毎に 1 回〔試験実施中〕	不要		
		型曲げ試験				
		衝撃試験				
		マクロ試験				
		非破壊試験				
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査				
		外観検査				
		曲げ試験				
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて〔試験実施中〕			
						新工種追加

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第 1 編 共通編】

【改訂：令和7年4月】

【第 1 編 共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に 1 回〔掘削中〕		
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は 1 施工箇所に 1 回〔掘削後〕		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 1 工事に 1 回〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・T S等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	
		3			盛土工		「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						巻出し厚	200mに 1 回〔巻出し時〕		
							「T S・G N S Sを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要		
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に 1 回〔締固め時〕		

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に 1 回〔掘削中〕	代表箇所各 1 枚		
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は 1 施工箇所に 1 回〔掘削後〕			
							「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」による場合は 1 工事に 1 回〔掘削後〕		・出来映えの撮影 ・T S等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
		3			盛土工			代表箇所各 1 枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						巻出し厚	200mに 1 回〔巻出し時〕			
										諸基準類の改定に伴う修正
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に 1 回〔締固め時〕			

【第1編 共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第1編 共通編】					【現行：平成28年7月】						
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘 要	改訂理由	
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件			
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1 施工箇所に1 回〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影		1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1 施工箇所に1 回〔施工後〕	代表箇所各1枚	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1 工事に1 回〔施工後〕														
			4		盛土補強工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回〔施工後〕		「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。							盛土補強工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回〔施工後〕	代表箇所各1枚		
5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回〔仕上げ時〕								5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回〔仕上げ時〕	代表箇所各1枚				
6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1 回〔施工後〕								6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1 回〔施工後〕	代表箇所各1枚				

【第1編 共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第1編 共通編】					【現行：平成28年7月】					
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回〔掘削中〕			1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回〔掘削中〕	代表箇所 各1枚		
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回〔掘削後〕									法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回〔掘削後〕			
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1工事に1回〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影									「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」による場合は1工事に1回〔掘削後〕		・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。												3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。	
		3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回〔巻出し時〕			3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚						
						「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要									諸基準類の改定に伴う修正					
					締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回〔締固め時〕						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回〔締固め時〕							
					法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕						法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕							

【第1編 共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第1編 共通編】					【現行：平成28年7月】						
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘 要	改訂理由	
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工路床盛土工	法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1工事に1回〔施工後〕	出来映えの撮影・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影		1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工路床盛土工	法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」による場合は1工事に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	出来映えの撮影・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況がわかるように撮影	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。												3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。		
		5			法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回〔仕上げ時〕					5			法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回〔仕上げ時〕	代表箇所各1枚			
	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1		組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）			3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1		組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）	代表箇所各1枚		
							かぶり	コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）									かぶり	コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）	代表箇所各1枚		
					2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験（電磁誘導法、電磁波レーダ法）	試験毎に1回〔試験実施中〕							2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験（電磁誘導法、電磁波レーダ法）	試験毎に1回〔試験実施中〕	代表箇所各1枚〔試験種別毎〕		

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	2	側溝工 (場所打水路工)	厚さ 幅 高さ	200m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	3	側溝工 (暗渠工)	幅 深さ	120m又は1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	30		集水枡工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶) ケレン状況 (塗替) 塗装状況	全数量 〔使用前後〕 スパン毎、部材別 〔施工前後〕 各層毎 1 スパンに 1 回 〔塗装後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅厚さ	40m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3	1	基礎工護岸 (現場打)	幅高さ	200m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕		

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚		工種名統一
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	3	暗渠工	幅 深さ	120m又は1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕	不要		工種名統一
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	30		集水枡工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	不要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶) ケレン状況 (塗替) 塗装状況	全数量 〔使用前後〕 スパン毎、部材別 〔施工前後〕 各層毎 1 スパンに 1 回 〔塗装後〕	代表箇所 各 1 枚		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅厚さ	40m又は1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3	1	基礎工護岸 (現場打)	幅高さ	200m又は1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚		

【第3編 土木工事共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第3編 土木工事共通編】					【現行：平成28年7月】							
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件				
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工 （コンクリートブロック積） （コンクリートブロック張）	厚さ（ 胴込＋裏込 ）	40mに1回（40m以下の場合は2回） 〔施工中〕	胴込コンの充填 状況確認		3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工 （コンクリートブロック積） （コンクリートブロック張）	厚さ（裏込）	120m又は1 施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚			暫定的に段階確認としていたものを、写真確認に変更	
						法長	200m又は1 施工箇所に1回									法長	200m又は1 施工箇所に1回					
						厚さ （ブロック積・張）	〔施工後〕									厚さ （ブロック積・張）	〔施工後〕					
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	2	コンクリートブロック工 （連節ブロック張り）	法長	200m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕ただし、根入部は40mに1回			3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	2	コンクリートブロック工 （連節ブロック張り）	法長	200m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚				
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工 （天端保護ブロック）	幅	200m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工 （天端保護ブロック）	幅	200m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚				

【現行：平成28年7月】

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕	整理条件 代表箇所 各 1 枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕												
						厚さ	1,000㎡に 1 回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						転圧状況	〔施工中〕			
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回			代表箇所各1枚
						転圧状況	〔施工中〕			
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			代表箇所各1枚
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			代表箇所各1枚
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎400mに 1 回		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎400mに 1 回	整理条件 代表箇所 各 1 枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						転圧状況	〔施工中〕												
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												
			8	2	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに 1 回		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに 1 回	代表箇所 各 1 枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						転圧状況	〔施工中〕												
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕												

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						転圧状況	〔施工中〕												
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕								タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		整理条件	摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕												
						浸透性ミルク注入状況	400mに1回 〔注入時〕												
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕												

【第3編 土木工事共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第3編 土木工事共通編】					【現行：平成28年7月】				
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	2	排水性舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	2	排水性舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	4	排水性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	4	排水性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
					(加熱アスファルト安定処理工)	転圧状況	〔施工中〕							転圧状況	〔施工中〕				
					整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	整正状況							各層毎400mに1回 〔整正後〕					
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	幅							各層毎80mに1回 〔整正後〕					
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		
					(基層工)	タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕							タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕				
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	6	排水性舗装工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	6	排水性舗装工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		
					(表層工)	タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕							タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕				
					平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	平坦性							1工事に1回 〔実施中〕					
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
5 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
5 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
5 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
5 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件 代表箇所		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件 代表箇所		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕								タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

【第3編 土木工事共通編】						【改訂：令和7年4月】						【第3編 土木工事共通編】						【現行：平成28年7月】					
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要		改訂理由		
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件 代表箇所					
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	整理条件 代表箇所 各1枚			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。		
						スリップバー、タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕									スリップバー、タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕						
						鉄網寸法位置	80mに1回 〔据付後〕									鉄網寸法位置	80mに1回 〔据付後〕						
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕									平坦性	1工事に1回 〔実施中〕						
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕						
						目地段差	1工事に1回									目地段差	1工事に1回						
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	整理条件 代表箇所 各1枚			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕						
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕						

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工）粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工）粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	8	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	8	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		代表箇所 各1枚	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

【第3編 土木工事共通編】						【改訂：令和7年4月】						【第3編 土木工事共通編】						【現行：平成28年7月】					
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要		改訂理由		
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件 代表箇所					
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	整理条件 代表箇所 各1枚			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。		
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕									タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕						
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ転圧状況	400mに1回 〔施工中〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕						
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕									平坦性	1工事に1回 〔実施中〕						

【改訂：令和7年4月】

【第3編 土木工事共通編】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12							新工種追加
						鉄筋寸法位置	80mに1回 〔据付後〕													
						横膨張目地部 ダウエルバー寸法、位置	1 施工箇所に1回 〔据付後〕													
						縦そり突合せ目地部・縦そり ダミー目地部タイバー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕													
						平坦性	1 工事に1回 〔実施中〕													
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕													
						目地段差	1 工事に1回													
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕													
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕													
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕													

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件								撮影項目	撮影頻度[時期]	代表箇所			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに 1 回	代表箇所 各 1 枚			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに 1 回			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						転圧状況	〔施工中〕														
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕														
						厚さ	各層毎200mに 1 回 〔整正後〕														
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕														
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰） 安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰） 安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕														
						厚さ	1,000㎡に 1 回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要														
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕														
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	4	薄層カラー舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚			3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	4	薄層カラー舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに 1 回 〔施工中〕			3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに 1 回 〔整正後〕														
						幅	各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕														

【改訂：令和7年4月】

【現行：平成28年7月】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		整理条件 代表箇所	摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕												
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕												
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕												

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	整理条件 代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						転圧状況	[施工中]												
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]												
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ※コアを採取した場合は写真不要												
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 [整正後]												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]												
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 [整正後]												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 [整正後]		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚		
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]												
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	15		路面切削工	幅	1 施工箇所に1回		3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	15		路面切削工	幅	1 施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
						厚さ(基準高)	[施工後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 [施工後]												

【第3編 土木工事共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第3編 土木工事共通編】					【現行：平成28年7月】								
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	改訂理由				
						撮影項目	撮影頻度[時期]								撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件						
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	8		バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ	200㎡又は1 施工箇所に1 回		3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工			バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ	200㎡又は1 施工箇所に1 回	整理条件 代表箇所 各1枚						
						出来ばえ	〔打込前後〕								出来ばえ	〔打込前後〕							
						杭径	200㎡又は1 施工箇所に1 回								杭径	200㎡又は1 施工箇所に1 回							
						位置・間隔	〔打込後〕								位置・間隔	〔打込後〕							
					砂の投入量	全数量 〔打込前後〕								砂の投入量	全数量 〔打込前後〕								
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔杭径	1 施工箇所に1 回 〔打込後〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔杭径	1 施工箇所に1 回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。				
						深度	1 施工箇所に1 回 〔打込前後〕								深度	1 施工箇所に1 回 〔打込前後〕							
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ幅	1,000㎡～4,000㎡につき1 回、又は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1 回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	9											
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位根入長	40m又は1 施工箇所に1 回 〔打込前〕		3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位根入長	40m又は1 施工箇所に1 回 〔打込前〕	代表箇所 各1枚						
						数量	全数量 〔打込後〕								数量	全数量 〔打込後〕							

【第3編 土木工事共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第3編 土木工事共通編】					【現行：平成28年7月】						
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要		改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件 代表箇所			
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚			
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕									ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕				
						厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕									厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕				
						法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕									法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕				
						材料使用量	1 工事に1 回 〔混合前〕									材料使用量	1 工事に1 回 〔混合前〕				
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚			
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕									ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1 施工箇所に1 回 〔吹付前〕				
						法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕									法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕				
						厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕									厚さ（検測孔）	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔吹付後〕				
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、幅、高さ、 枠中心間隔	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。			3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、幅、高さ、 枠中心間隔	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚			
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	6		アンカー工	削孔深さ	1 施工箇所に1 回 〔削孔後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	6		アンカー工	削孔深さ	1 施工箇所に1 回 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚			
						配置誤差	1 施工箇所に1 回 〔施工後〕									配置誤差	1 施工箇所に1 回 〔施工後〕				

【第3編 土木工事共通編】					【改訂：令和7年4月】					【第3編 土木工事共通編】					【現行：平成28年7月】						
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要		改訂理由
						撮影項目	撮影頻度[時期]									撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件			
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕 ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1 工事に1 回			3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	代表箇所 各1 枚			3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の策定による改定。
						厚さ 幅高さ	200m又は1 施工箇所に1 回 〔型枠取外し後〕 ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1 工事に1 回 〔型枠取外し後〕									厚さ 幅高さ	200m又は1 施工箇所に1 回 〔型枠取外し後〕				
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔埋戻し前〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1 施工箇所に1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1 枚			
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	3		盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	高さ鉛直度	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	3		盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	高さ鉛直度	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1 枚			
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工中〕	代表箇所 各1 枚			
						法長厚さ	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕									法長厚さ	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕				
3 土木工事共通編	2 一般施工	16 浚渫工	1		浚渫船運転工 （ポンプ浚渫船） （グラブ船） （バックホウ浚渫船）	運転状況	1 施工箇所に1 回 〔施工後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	16 浚渫工	1		浚渫船運転工 （ポンプ浚渫船） （グラブ船） （バックホウ浚渫船）	運転状況	1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1 枚			
3 土木工事共通編	2 一般施工	18 床版工	1		床版・横組工	幅厚さ鉄筋の有効高さ鉄筋のかぶり鉄筋間隔	1 スパンに1 回 〔打設前後〕			3 土木工事共通編	2 一般施工	18 床版工	1		床版・横組工	幅厚さ鉄筋の有効高さ鉄筋のかぶり鉄筋間隔	1 スパンに1 回 〔打設前後〕	代表箇所 各1 枚			

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]			
9 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕			
						製作状況	適宜 〔製作中〕			
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕			
9 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向)	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回			
						敷幅(橋軸方向)				
						高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長				
9 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回			
						敷幅				
						高さ 天端長 敷長				
9 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ	全数量 〔型枠取外し後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回			
						天端幅				
						敷幅 高さ 長さ				
9 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅	全数量 〔型枠取外し後〕			
						高さ 長さ				
9 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅	全数量 〔型枠取外し後〕			
						高さ				

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件			
9 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚			
						製作状況	適宜 〔製作中〕				
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕				
9 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向)	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚			
						敷幅(橋軸方向)					
						高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長					
9 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚			
						敷幅					
						高さ 天端長 敷長					
9 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ	全数量 〔型枠取外し後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚			
						天端幅					
						敷幅 高さ 長さ					
9 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚			
						高さ 長さ					
9 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚			
						高さ					

改訂理由										
3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。										
3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。										